



地域に根付いた 防火クラブをめざして

新潟県十日町市水沢女性防火クラブ
会長 櫻澤 秀子



1 はじめに

十日町市は、長野県との県境、千曲川が信濃川と名前を変えて間もないところに位置しています。私たちの十日町市水沢地域は、人口約5,600人、約1,800世帯、25集落からなっており、冬は3メートルもの雪が積もるような中山間地域です。

2 防火クラブ発足

平成20年12月に、水沢地域内で高齢者の女性宅から出火し、木造2階建て住宅が全焼、隣の住宅も全焼するという火災が発生しました。

そこで、私たちは日常の火災予防の重要性を再認識し、水沢地区振興会の支援を得て地域の女性に呼びかけ、平成21年12月に会員12人で発足させ、現在は19人で活動し

ています。発足以来、地元振興会・消防団・交通安全自治会・集落・老人会・小学校・保育園など多くの皆さんのご支援、ご協力をいただきながら地域の防火防災意識の普及啓発活動を行っています。

3 さまざまな火災予防活動

1. 年間を通じた防火パトロール

私たちの地域は、小さな集落が多く高齢化も進んでおります。そこで日々の火災予防活動の重要性を感じ、交通安全自治会のパトロール車を借りて、年間を通して「火の用心」をスピーカーで呼びかけながら、地域を巡回しています。

また、林野火災防止のため、「山火事注意」の立看板を作成し、各地区の消防団と協力して地域内の農道等へ設置しました。これら年間を通じたパトロール等により、日頃から繰り返し防火PRを実施する必要性を感じています。

2. 初期消火訓練の実施

地域内の保育園、小学校、老人会、集落等へ出向いて、火災予防の話や訓練用消火



消火訓練PRポスター



初期消火訓練指導



「山火事注意」の広報活動

器を使用した消火訓練を皆さんと楽しく実施しています。

消火器訓練は、隣近所の声掛け、ふれあい、地域のコミュニティづくりにも役立っていると感じています。

小学校や保育園では、初期消火、通報訓練を主に行います。回を重ねるごとに子どもたちの防災意識が確実に向上しているのを感じ、私たちの張り合いにもなっています。

3. 防災かるたの作成と活用

防火クラブを発足させて以来、各会員の目線で気づいたことを「防災かるた」という形でまとめ、これを防火・防災PRに活用しています。

「防災かるた」は、火を使う機会が特に多くなる冬期間に保育園、小学校、老人会等に出向いて、「カルタ取り」や「紙芝居形式」で活用しており、皆さんから大変喜ばれています。カルタや消火器の取扱い指導等で地域へ継続して顔を出すことが、防火・防災の啓発に一番結びついているのではないかと考えています。

4. 地域行事への参加等

私たちの水沢地域は、毎年9月の第2日曜日を「防災の日」と決めて、当日は全ての集落がそれぞれの地域で防災訓練を行います。私たちは、地区振興会の自主防災会

本部に属してお手伝いをしています。

この水沢地域全体で行う訓練は、私たちクラブ員にとっても防災に関心を深める絶好の機会となっています。

また、防火広報用のポケットティッシュを配ったり、住宅用火災警報器の設置をPRするといった活動を年間40回ほど行っています。

4 おわりに

このような活動が認められ、私たちは「第19回防災まちづくり大賞」を頂戴いたしました。

私たちの力は微力ですが、この受賞は私たちの大きな励みになったことはもちろんのこと、ご支援、ご協力をいただいている地域の皆様にも大きな喜びになりました。

今回の受賞を通して、「女性、一人一人の力は小さくとも、仲間が集まれば大きな力になる」ということを改めて気付かされました。

これからも、無理せず、力まず、自分たちも楽しみながら、地域の安心・安全に結び付けられるよう頑張っていきたいと思っております。



防災まちづくり大賞受賞祝賀会

【問合せ先】 十日町地域消防本部予防課